

あったかい言葉

東濃地区小中高特生徒指導連携強化委員会
兼 東濃地区家庭教育推進会議
東濃西部版



■笑顔でおはよう(多治見市立根本小学校)

毎日、私が登校班の2年生の子に「おはよう」というと、いつもその子が笑顔で「おはよう」と言ってくれます！いつでも明るく、元気なところがいいと思います。笑顔で「おはよう」と言ってくれるので、朝からとてもいい気持ちになって、心まで明るくなれた気がしました！！

■1番の友達だから(多治見市立南が丘中学校)

私はとても心配症で、ネガティブで悩んでしまう性格。そんな私には、仲のいい友達がいる。私はけんかや言い合いが嫌い。だから他の友達とはぶつかり合わない。だけどこの子は別。年に何度か言い合いになる。それは互いが我慢しないように色々意見を言うのだ。話し合うと私は自分を責めてしまう。「もう嫌いになっていいよ。全部私が悪いから。」など言ってしまう。たくさん話し、最後に「こうやって言い合って泣いてるのは、本当に信用してる一番の友達だからだよ。」と言われた。私は大号泣。こんな私でもそう言ってくれる。私はその友達をずっと大切にしていきたいと心に決めた。

■また明日!!(多治見市立小泉中学校)

よく一緒に帰る友達がいる。その友達は別れる時にいつも「ばいばい！また明日ねー！！」と言ってくれる。こうして自分と明日も仲良くしてくれる友達。さりげなくかけてくれるこの言葉は、私にとってとても嬉しく、あたたかい言葉です。私も友達と分かれるときは必ず「また明日！！」と言うように、これからもあたたかい言葉をつなげていきたい。

■生まれてきてくれてありがとう(土岐市立駄知小学校)

ママがときどき、生まれてきてくれてありがとうと言ってくれます。だから、あったかくて、うれしいです。

■待っていてくれてありがとう(瑞浪高等学校)

友達と遊ぶ日の時に私の方が先に集合場所に着いていました。その後、友達が私の方に向け寄ってきて「待っていてくれてありがとう！」と言ってくれました。「待たせてごめんね。」とかではなく「ありがとう。」がついているだけで心があったかくなりました。

■責任感と思いやりのある行動(瑞浪市立日吉小学校・保護者)

娘は、分団長をしています。今までは雨だと学校まで車で行っていましたが、6年生になってからは、「雨の日でも歩いていく。」と言うようになりました。話を聞くと「低学年の子が1人で歩くことになって危ないから一緒に行く。」と言いました。分団長として、最高学年として、親の知らないうちに責任感と小さい子への思いやりが成長していたんだなあと思い、とても嬉しくなりました。そんな行動ができる娘を誇らしく思います。

■あげる(多治見高等学校)

のどが痛くて朝から声が出なかった時、友人のKに「これうまいよ。あげる。」とのど飴をくれたことです。いち早く私の異変に気づき、気遣いの言葉だけでなくのど飴もくれるという行動に胸が暖かくなったし、相手に気負わせない言葉遣いに感銘を受けました。ありがとう！K！！

■毎朝の元気の源(瑞浪市立瑞浪中学校)

私は、毎朝中学校に行くまでの通学路で元気をもらっています。毎朝歩いていると必ずおばあさんに会います。そのおばあさんは、毎朝「行ってらっしゃい。がんばってきてね。」と声をかけてくれます。私はそのがんばってねで元気をもらっています。さらに、始めは「行ってらっしゃい」の声かけに答えられていませんでした。でも最近は「行ってきます。」と言えるようになりました。私は、このおばあさんを通して、人との交流の大切さに気付きました。

■やさしい(東濃特別支援学校)

クラス活動の時に先生にKさんやさしいねって言ってくれました。また、他の先生も連絡帳でKさんはとてもやさしいと思っていますよ。と書いてくれました。自分は普通にお手伝いしてるけど、先生にほめられるとさらにお手伝いしたいなって思いました。これからもお手伝いしたいです。

■自信をもって(東濃特別支援学校)

ぼくは自分から何かをする際、間違えたことをしてしまうかとも思ったりして、あまり自分から行動が出来なかったけど、自分に自信をもってと言ってくれました。自信をもって言ってもらえて、少し自分から行動ができるようになりました。

■すごいじゃん!(多治見西高等学校)

自分が課題としている事は自分にしかわからない。自分が課題としていたちょっとしたことが出来た時、仲間が「すごいじゃん！」と言ってくれた。私はとても嬉しかった。周りで自分のちょっとした事でも見てくれる人がいると知り嬉しい気持ちになりました。

■明日、学校に来れそう?(瑞浪市立明世小学校)

私は、長い間病気にかかり、学校に行けなかったときがありました。そんな時、友達が家に来てくれました。「勉強の内容大丈夫?明日、学校に来れそう?」友達は私のことを心配してくれていたのです。そのことが分かったと同時に、今までより強く「早く治そう」と考えるようになりました。今でも病気が良くなったのは友達のおかげだったのかもしれないと思っています。

